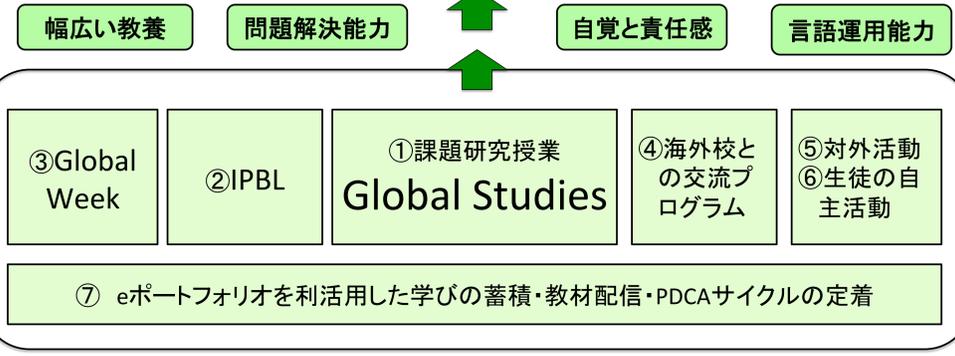


清教学園中・高等学校 SGHアソシエイト

「グローバル社会に立ち向かう - 自立した学習者を育成する学習プログラムの構築 -」

清教学園のSGHアソシエイト校プログラムの7つの柱を通して、「幅広い教養」「問題解決能力」「言語運用能力」「自覚と責任感」の4つの素養の習得を図るとともに、変化に富み未来が予測しづらいグローバル社会において必要な知識・技能を自ら獲得し活躍していくためには、高校3年間で生徒を「自立した学習者」へと育成することが必要と考え、そのための教育プログラムの開発・実践・効果測定を行っている。

めまぐるしく変化するグローバル社会に立ち向かうため
高校3年間で「自立した学習者」へ



ICTを用いた協働学習
途上国の子ども達の現状をポスターにまとめた。ユニセフ『世界子供白書』を用い、グラフを作成し、現状を可視化。



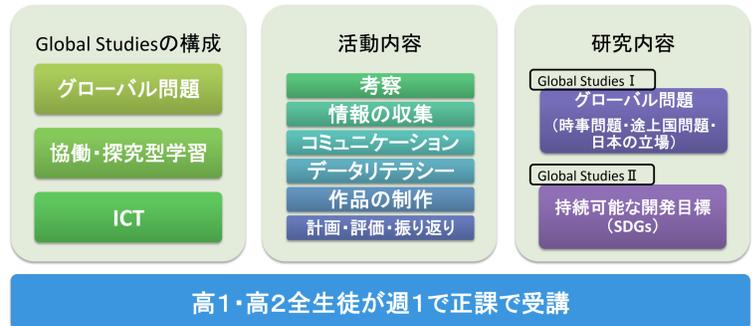
ディベート学習
テーマは「日本は難民の受け入れを増やすべきか」「自動運転の車の事故責任は運転手が負うべきか」等6テーマ。



研究発表会のリハーサル
BOPビジネスを通して途上国の現状とビジネスの可能性を考察。高校生の視点から新たなビジネスを提案した。

1. 課題研究授業 Global Studies

変化がめまぐるしいグローバル社会で起きている諸事象を取り上げ、探究型・協働学習型の授業を展開している。高校1年生は主に探究の基礎を学び、ICTの活用を通して情報リテラシーやデータリテラシーも身につける機会となっている。高校2年生は、高校生としてグローバル問題をどのように捉えるか、本校のキリスト教主義に基づいた視点から主に持続可能な開発目標に関する問題を考察している。授業は地歴公民科・情報科・図書館司書・聖書科・国語科・英語科の教員によるティームティーチングを進めている。



高1・高2全生徒が週1で正課で受講

900人全員が行ったGS研究発表会 「持続可能な世界をめざして」 2017年3月11日(土)

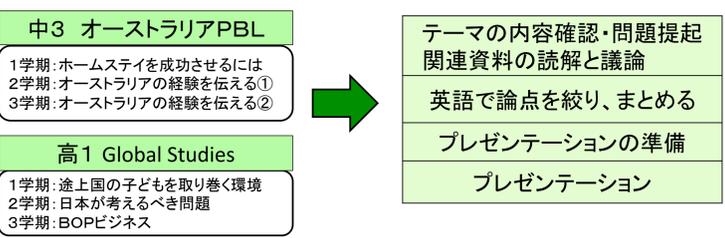
本校SGH運営指導委員や来賓をお招きし、高1生・高2生全員が発表を行うGlobal Studies研究発表会を開催。3会場に分かれ、高1生はポスター発表を、高2生はPPTスライド発表を行った。



生徒のテーマ例
植物がインドの未来を変える！
ウガンダの環境・エネルギー問題とBOPビジネス
東南アジアに適用した日本技術の普及 - 一ラオスをモデルとした経済プラン -
Let's think about the education - Dream and hope for children -
Chinarchitecture
外来種の流入防止と在来種の保全について 等

2. IPBL (Intensive Project Based Learning)

中3・高1・高2の全生徒が1日中英語のみの授業を受ける英語集中プログラム(中2は3学期のみ受講)。年3回実施。生徒を少人数グループに分け、ネイティブ教員(1クラス3人)が入り授業を展開するプログラムで、日本語による課題研究授業と連動している。1日集中型にすることで英語へのスタミナをつけ、バランス良く4技能を使う場面を作っている。また、英語が持つ論理的思考の定着や課題研究における立論の方法を学ぶことも企図している。



3. Global Weekの設定

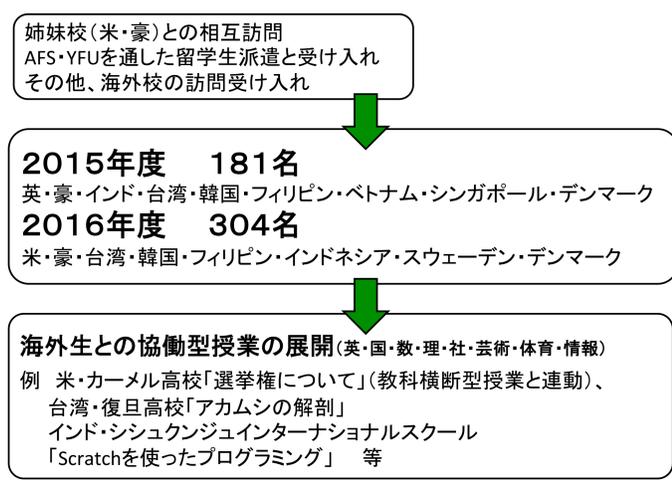
グローバルレクチャー(年3回)
「グローバル」をキーワードに各界で活躍されている方をお招き講演会を開催。2年間で23人招聘。
例 近藤哲生氏(国連開発計画駐日代表)
行木陽子氏(日本IBM株式会社)
竹村景子教授(大阪大学)
土井康裕准教授(名古屋大学) 等

大学との連携企画
大阪大学・留学生ディスカッションプログラム
大阪府立大学・サイエンス講演会
名古屋大学・プレゼン・ディスカッション講座 等

教科横断型授業
政治経済・英語(高2)「選挙権について」
現代文・英語・世界史(高1)「パレスチナ問題」
古文・理科(中3)「俳句に見る動植物」 等



4. 海外校との交流プログラム



5. 外部プログラムへの参加/6. 生徒の自主活動

研究発表会への応募・参加
全日本高校生模擬国連大会、SGH生徒成果発表会、SGH甲子園 等

海外留学プログラムへの応募・参加
トビタテ！留学JAPAN、大阪グローバル塾、UCL-JAPAN YOUNG CHALLENGE 等

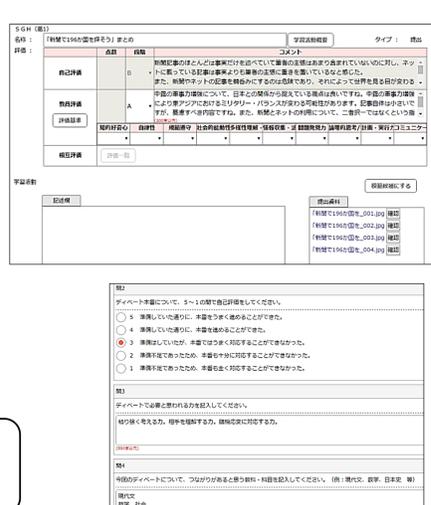
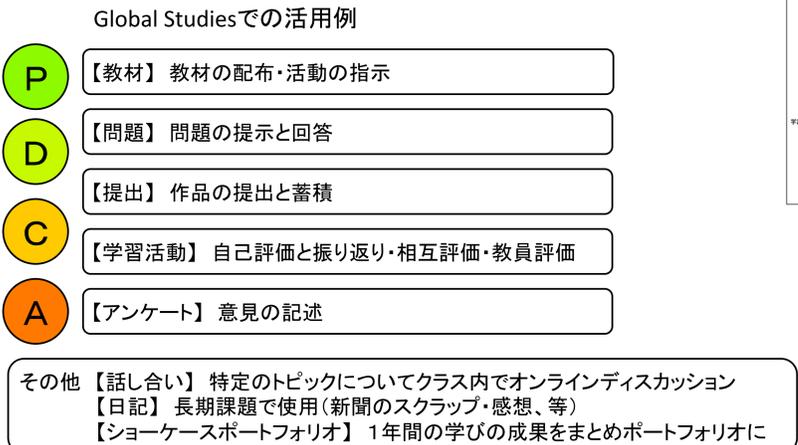
グローバルイベント委員(生徒の自主活動)
海外からの訪問客の受け入れ、Global Lunch等

有志生徒の活動
ワークショップや報告会の開催、研究チームの結成

他校との交流会
大阪府立三国丘高等学校・京都教育大学附属高等学校



7. eポートフォリオシステム「まなBOX」の活用



その他の取組

半年留学スカラーシップ制度(オーストラリア・カナダ)
アメリカ・UCバークレー研修
イギリス・ケンブリッジ研修
オーストラリア・グローバル研修(中3全員)
オーストラリアPBL、オンライン英会話
Global English補講
大阪府TOEFL iBTチャレンジ試験事業

BYOD方式の個人端末導入

学園HPのSGH Todayにて取組の発信